

学生新聞

放送大学
埼玉学習センター
埼玉CSC交流会
学生新聞
編集委員会
〒330-0853
さいたま市大宮区
錦町682-2
TEL048-650-2611

新型インフルエンザ救済対策 追試験実施決まる

新型インフルエンザに追試！
現在埼玉県下では、新型インフルエンザ患者が急増中である。

第2学期の単位認定試験では、新型インフルエンザ感染拡大防止に必要な対策として、新型インフルエンザに感染もしくは疑いのある者の単位認定試験の受験を禁止する措置を行う予定。



専攻コース変更に関する特別措置

二〇〇九年第一学期からの新コース設置に伴い、二〇〇八年度以前に入学した全科履修生に対し、二〇〇八年十月新コースへの所属移行について案内しましたが、旧専攻において卒業間近な学生が、大学ホームページ又は新コースに所属移行した場合、卒業するための修得単位が増える著しい不利益が生じることがあることなどから、新コースに移行した者が旧専攻へ戻ることを希望すれば、本年度に限り旧専攻へ戻す特別措置が承認されました。詳細については、

これにともなう、二月五日(金)から十四日(日)までの予定でこの措置の対象者に追試験を

開所時間の変更について

二学期から学習センターの開所時間が次のとおり変更になっています。

ご注意ください。
火・土 十時～十八時半
日 九時半～十八時半
単位認定試験期間・九時～十九時

第三回フェスタ 盛況で終了

十月十日(土)～十一日(日)に開催の第三回フェスタは終日、学生、同窓生、一般の方々が多数訪れられました。新企画のオカリナ演奏、地元さいたま出身の柳家喬の字さんの落語「太夫餅」はそれぞれ好評であった。

また、期間中、個人作品の展示ではプロ顔負けの力作も見られた。フェスタの最後を飾る交流パーティーでは、プロのオカリナ演奏の清水さんが参加され、会場を盛り上げていただき賑やかなものになった。

まなびピア盛況

十月三十日(金)から十一月三日(火)までの五日間、さいたまスーパーアリーナで全国生涯学習フェスティバルが開催された。我が放送大学埼玉学習センターも出展した。

放送大学ブースでは、5日間を教養学部5つのコースに分けた内容で毎日、本部の先生方の講義形式と学生参加のサークル紹介、ちりめん本の展示など多彩なメニューで行われ大勢の方々の関心を集め、ひとときわ目立ったブースとなった。



写真は、最終日、放送大学イメージキャラクター「まなび」との記念撮影

公開講演会のお知らせ

開催日時 平成二十二年一月一七日(日) 午後二時
開催場所 埼玉学習センター
テーマ 「渋沢栄一 的思想と行動」
講師 渋沢栄一記念財団 木村昌人 研究部長

探訪コーナー第5回 東京多摩学習センター

去る十月二十一日さわやかな秋の午後、多摩学習センターを訪ねました。武蔵野線新小平駅下車「はげの道」。「畑中の道」を通り、猫の散歩道のような小道を抜けて十七分程行くと、一橋大学国際共同研究センター内の東京多摩学習センター北門に着きました。いちようが色づき始めこれぞ大学という広々としたキャンパスです。早速、三階の所長室で笑顔のステキなドイツ文学・文芸統計学が専門の新井所長、原嶋事務長にお話を伺いました。



多摩学習センターは二〇〇一年発足、東京で四番目の二十一世紀生まれの一番新しいセンターであること、東京都のみならず埼玉の所沢方面の学生も多いこと、車椅子の学生も利用しやすいバリアフリー施設であること、面接授業には、地の利を生かし一橋大学の先生方に五科目も受け持つ頂いていること、実際に近く坪庭風のテラスには風と光がさしこんでいました。図書室と視聴覚室が同室なので利用しやすいえ、各室とも武蔵野の木々と空が見渡せ、目に優しい環境でした。帰りには玄關まで送ってくださった原嶋事務長が頻りに新井所長のすばらしさを誇らしげにお話しされていたのが大変印象に残りました。正門から西へ少し歩くと平橋田中(でんちゅう)邸・彫刻美術館があり、その先が玉川上水の南大橋に行きあたります。(哲学の道)ならぬ「玉川上水思索の道」というわけです。学びの環境としてこのうえない学習センターでした。是非面接授業の折にでも出掛けて見てくださ

フェスタと輝く学生

埼玉CSC交流会代表 篠田安彦

第三回目を迎えた埼玉フェスタ(学園祭)が成功裏に終わりました。どなたでも自由に参加出来るプログラムとしては、世界天文年に因んで海部宣男放送大学教授による「宇宙の膨張・宇宙のはて」の公開講演会をはじめ、落語家 柳家喬の字さんによる 講演と実演(落語の世界)、公開勉強会(食の安全と日本の農業)、中国映画鑑賞会(青い凧)、健康体操、オカリナ演奏と多彩でありました。また、賛助券所持者を対象とした、俳句・川柳投句の会、学生、同窓生、教職員を交えた交流会は、今回初の企画でプロのオカリナ演奏者清水さんを招いて合唱や演奏で盛り上がり100%の会となりました。各サークルごと趣向に凝ったバザー出店、やすらぎの空間スペース

としてお休み処茶席コーナーを設置など、創意に満ちた企画が用意されました。実行委員を始め皆様方だれもがフェスタの趣旨を理解され、又、汗を流し知恵を絞る努力が行われました。「成功に終わる事」は、みんなの力が結集された結果だと思われまます。また、フェスタ期間中毛利センター長が女子高校生を案内している場面に出会いました。後日センター長のお話では母親が放送大学の学生で、その高校生に対し直接放送大学に行つて、「生涯学習の意義」を調べて来るようにとアドバイスされたのだそうです。また、フェスタ会場で、ある男性が「放送大学の人は輝いています」と話しているのを耳にいたしました。そのことを聞き、敬意と感激で胸が一杯になりました。多くの方々の力がフェスタ・交流会を成功に導いて頂いたと確信致しております。ご協力ありがとうございました。

吉森・松崎 両客員教授のサロンが人気!
吉森・松崎両先生の今後のサロンの日程が次のとおり決定した。

世界公開大学学長シンポジウム

11月14日(土)・15(日)に浦和コミュニティセンターにおいて開催された。鈴木木寛文部科学副大臣、清水水人さいたま市長、石学長の挨拶の後、坂東久美子文部科学省生涯学習政策局長の基調講演「生涯学習社会の構築に向けて」日本における現状と課題を中心として始まり、参加各国の学長によるそれぞれの取り組みなどが紹介された。

埼玉学習センターでは、集会所を利用して、第3回埼玉フェスタで展示した絵画、書などの作品を展示するとともに茶席コーナーを設け、各国の参加者に憩いの場を提供した。

白倉恵美子さん インタビュー

今回は主婦、学生、ボランティア、調停委員など多方面で活躍中の白倉恵美子さんにお話を伺いました。

Q 入学のきっかけは。
A いろんな社会活動を行う中で「何も知らない自分」を思い知らされ、このままではいけないと思いました。

Q 放送大学でどんなことを学ばれましたか。
A 一九九七年「人間の探求」へ入学。4年後「発達と教育」に変更。卒業後は「セラピストやカウンセラー資格取得。二〇〇五年再び「社会と経済」に再入学。「ピースボート地球大学」となり、この時、船上で高橋和夫教授の「国際政治」を学び、一緒にパレスチナ難民キャンプにホームステイしたこと等が私の宝になっています。

Q 現在、どんな社会活動をされていますか。
A 市内小学生バレーボールチームの育成を手始めに日赤、交通安全母の会、明るい社会づくりの会、高齢者ふれあい委員、家庭少年の友の会の活動などです。

Q 今後の抱負を。
A いつか大学院に入り、6人の孫達に「学び、生きる姿」を示したい。

Q 放送大学の中でもいろいろなサークル活動をされていますね。
A (世田谷) 星先生の読書会・(足立) 心理学研究会・(大宮) うえるかむ・サークル大宮・熟年会・未来の会などです。

Q 本日はお忙しいところありがとうございました。(文責 若松)

この秋、埼玉学習センターは三つのイベントが続く。学生の一人として協力し、充実した日々でした。学生としては勉学の秋であり、レポート提出の時期でもあるので机に向う。「政治学入門」のテキストを開いたが一向に頭に入らなく、机の傍らにある「近代日本の政治家」(岡義武著)を手にした。この本は、所属のサークル「熟年会」での7月の勉強会「科目登録と試験に備えて」で、会員のAさんとOさんの二人が参考図書として推薦した本である。頁を繰ると葉が目についた。この本は、近所の書店で取り寄せてもらったのだが、顔見知りの店主が手渡す折、ニコツとしながら葉を挟んでくれたのを思い出した。

葉には次の言葉があり、今学んでいる私たちへの励ましとして受け止めた。

『学ぶ心』 松下幸之助
学ぶ心さえあれば、万物全てこれわが師である。語らぬ石、流れる雲、つまりはこの広い宇宙、この人間の長い歴史、どんなに小さいことでも、どんなに古いことでも、宇宙の摂理、自然の理法がひそかに脈づいているのである。そして、また、人間の尊い知恵と体験が滲んでいるのである。

これら全てに学びたい。(岡里順子記)



